

細部の装飾にまでこだわった和洋折衷モダンリズム
京風モダンな家(S邸)

株式会社大庭工務店 村山英樹さん

— 京都に住むならこんな家という理想に込めて

「ご主人の転職を機に京都暮らしが始まったSさまご夫婦は、お一人とも東京生まれの東京育ち。しばらくは町家を借りておられました。京都に住むなら戸建て」というのがお二人の当初からの共通の願いでした。土地勘もないお二人の、そんな思いを形にしたのが、大庭工務店の村山英樹さんです。

「土地探しから一緒にしました。候補地が変わる度にその土地に合わせた設計図を引き、具体的なイメージをご提案しました。細かな部分まで詰めない設計は完成しませんが、全体のテイストをはじめ、使いたい素材や色合いなど、お二人の趣向が最初からしっかり固まっておられたので、やりがいのある面白い仕事でした」と言う村山さん。

住まいがあるのは古くから開けた住宅地の南西の角地。家族の団らんを第一に考えた1階のリビングには、吹き抜けの壁いっぺいに広がる特注の窓を設置。「近くの公園や日の入りが見えたり、とても気に入っています。この窓の景色を見ながら過ごすよう、2階の廊下にもバーカウンター式の手すりを付けました」とSさまが言われると、「眺望のほか、明るさや暖も窓から取れるので、昼間に電気をつけたこともないですし、冬場も床暖房と朝夕のエアコンだけで過ごせました」と、奥さまもその効果を実感されています。



1 2階に設けられたシアタールーム。防音対策がされており、映画鑑賞だけでなく、Sさまの趣味でもあるサックスの練習も可能。
2 1階のほぼすべての部屋が見通せる対面式キッチン。壁にタイルを貼って、リビングとの差別化をはかっています。

3 ご夫婦の趣味の漫画本を収納した図書室。ここで過ごすのが奥さまの至福の時間だとか。
4 木目の格子と、庭に咲くイロハモミジ、Sさんがオーダーされた芥子色の外壁がきれいな対照を見せています。

5 柿渋の広縁と無垢の木を敷き詰められたリビングに、吹き抜けからの陽光が差し込んで、とても柔らかい雰囲気をかもし出しています。



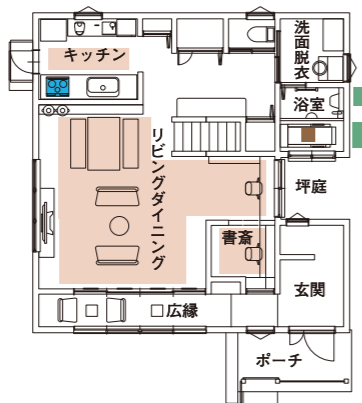
株式会社大庭工務店
ほんまもん建築工房「彩家」SAIKA
専務取締役
むらやま ひでき
村山 英樹さん

「一生に一度の家づくり、絶対に失敗したくない」をモットーに、家づくりを行います。住まい手のこだわりをしっかりと取り入れ、世界に一つだけのお家を造り上げていきます。家づくりに関する事なら何なりと申し付けてください。お力になれるはずです。

・連絡先：ほんまもん建築工房「彩家」SAIKA
・住所：京都府長岡京市馬場園所19-2
・TEL：075-952-5502
・FAX：075-955-2851
・URL：https://yume-kyoto.com/

京風モダンな家(S邸) 縮尺=1/200

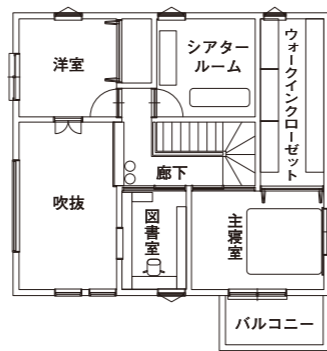
■ エネファーム ■ ヌック ■ ミストカワック ■ Siセンサーコンロ



1F

京風モダンな家(S邸)

・所在地 / 京都府長岡京市
・家族構成 / ご夫婦+子供1人
・敷地面積 / 132.85㎡
・建築面積 / 71.54㎡ ・延床面積 / 111.70㎡
・構造・規模 / 木造・地上2階
・設計期間 / 2016年11月～2017年3月
・施工期間 / 2017年3月～2017年9月



2F

導入ガス設備・システム

・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファーム△type S
・ガス温水床暖房 ヌック
・ガス温水浴室暖房乾燥機 ミストカワック

2階までの吹き抜けや仕切りのない居間のレイアウトも「家じゅうのどこからでも家族の雰囲気を感じられる」というコンセプトに基づいたものです。そのため1階のリビングと書斎、対面式キッチンの間には、扉などの仕切りを設けず、素材や色合いの違いで場所を区別しています。「キッチンの緑色のタイルは設計の村山さんの提案で、書斎の淡い水色は確か私が選んだのかな」とSさまが言われる通り、素材や細々とした造りまで設計の村山さんといっしょに話し合いを重ねられました。

配色にも、和洋を折衷した京風モダンへの憧れが色濃く表れています。「外観は縦格子の木製の塀と芥子色の壁面とでコントラストをつけています。無垢の木を基調にした家の中は、玄関から居間に至るまでの縁側に、淡さを感じさせる柿渋を塗っていただきました。最初は天井の仕切りに欄間を入れたかったのですが、冬場に風が通り過ぎるので、自分で購入したスチンドグラスに変更しました。障子に擦りガラスを加えたのも、ちょっと昭和風な和のアクセントを加えたかったからです」と言われるSさま。

2階には寝室や子ども部屋のほか、ご夫婦の趣味の漫画が収納できる図書室やシアタールームも完備。部屋の扉には和風の引き戸を特注して据えられるなど、楽しみながら家づくりされた形跡が随所にうかがえます。

— ともにアイデアを出しあったこだわりの住まいづくり

